

## 令和 3 年年度在宅医療介護連携推進事業 広報啓発部会（案）

## 1. 目的

市民が在宅医療や介護について理解し、在宅療養に必要なサービスを適切に選択できるようにする。また、適切な在宅療養を継続するために、終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解促進をする。

## 2. 部会委員

職種	氏名	所属	役割
歯科医師	吉寄 太朗	吉崎歯科医院	部会長
医療相談員	白井 健志	三郷中央総合病院	
介護支援専門員	丸山 奈穂子	みさと南訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	副部会長
	磯 知恵	地域包括支援センターみさと南	
介護福祉士	栗原 一樹	デイサービスセンター采女の里	

## 3. スケジュール

令和 3 年 6 月	第 1 回部会	
7 月	第 2 回部会	
9 月	第 3 回部会	
令和 4 年 1 月	第 4 回部会	(今年度の評価及び次年度の方針決定)

## 4. 実施内容 昨年までの内容～

- ・ ACP に関する普及啓発（県作成 DVD あり）
- ・ 啓発物の作成、配布

## ※市民講演会

H29 年度：(特養での看取り 石飛幸三医師)、

H30 年度：(在宅での看取り 小笠原文雄医師) 開催、医師会作成のエンディングノートの配付

R 1 年度：介護ミニ講座（介護サービスの入り口（包括）をメインに 2 か所で開催）

## ※市民向け啓発物配布

R 2 年度：市民の医療介護の相談と理解促進への入り口として「介護の絵本」B5 冊子 3000 部制作及び配付

\*今年度も COVID-19 の為、講演会等の開催が難しいと考え、新たな啓発物を検討している。

## 5. 予算

科目	内容	金額 (円)
報償費	部会委員 (5,000 円×5 人×4 回)	100,000
謝金	講師謝金または冊子データ作成費	50,000
消耗品費	啓発用パンフレット・事務用品	140,000
消耗品	印刷・用紙代等	10,000

## 6. 今年度の方針について

広報啓発部会の啓発内容として、相談窓口～介護サービスの説明～ACP、看取りという流れで考えております。

令和3年度はACP、看取りとなっておりますが、検討していきます。

また、今年度も講演会等集まりが難しい状況で冊子を作成、配布を検討しています。

## 広報啓発部会

今年度も昨年に引き続き、市民が在宅医療・介護について理解し、必要なサービスを選択できるように、また、在宅医療を継続し、終末期のケアや看取りについての理解を促進するための事業を実施いたします。

委員につきましては、昨年度の委員に継続を依頼いたしました。その中で一部、変更がございます。采女の里デイサービスセンターの吉井さんから栗原さんに、そしてみさと健和病院の増子さんから中央総合病院の白井さんに、また、地域包括支援センターしんわの柴田さんから地域包括支援センターみさと南の磯さんに代わっております。

また、部会長につきましては引き続き、吉寄先生に、副部会長は増子さんからみさと南訪問看護ステーション丸山さんへ代わっております。

スケジュールにつきましては、第1回を6月に開催し、今年度の方針を決めていただきたいと考えております。開催回数につきましても今後の状況判断になると考えます。

これまで実施してきたことは、市民講演会として、平成29年度の石飛幸三先生、平成30年度の小笠原文雄先生をお願いいたしました。

令和元年度は、介護ミニ講座として市内2か所で介護が必要になったときに入り口としての包括の利用についてをメインに話を進めました。

令和2年度は、これに続き、ミニ講座等を開き、それぞれの在宅サービスについての説明をし、今後ACP、看取りとつなげていく予定としておりました。

しかし、コロナの感染状況によって、会場に集まらない状況になり、医療介護相談窓口と在宅サービスについての説明を市民へ分かりやすいように絵本風冊子「介護の絵本」を作成、配布いたしました。

令和3年度もこの状況は続き、講演会等が難しいと考えておりますので、チラシ、冊子等の制作を検討しております。

また、予算につきましても企画が固まってからになります。委員の報酬を除く総額については、20万円となっております。

以上。